

BCAO関西支部 令和4年11月度(第174回)地域勉強会 議事録

日 時 2022年11月16日(水) 18:50~20:30

場 所 Zoom

司会者 飯田 書記:鷺山

出席者 飯田、梅田、野原、徳山、別役、萩原、中島、上辻、湯地、中村、寅屋敷、柳父、速水、
伊藤(聖)、鷺山(記)(計 15名)

テーマ:「災害時の IT 活用について」

講 師:インフォコム株式会社 徳山 英治 氏

概 要:

* 災害時情報の新しい収集手段について → SNS 活用の可能性と課題

1. 災害時の収集情報と収集手段 → ヒト、モノ、カネ、ライフライン、公共交通機関、道路や河川、自治体・病院・学校・警察、取引先等に関する情報収集

2. 従来の収集手段が抱える課題 → 必要な情報がそれぞれの場所に分散、能動的に情報を取りに行く必要性、陳腐化情報、判断するための加工・工夫が必要であった

3. 新しい情報の収集手段 → SNS、AI の活用 → 事例紹介(視聴者撮影映像など)

SNS の利用率 → 東日本大震災 0.9% → 熊本地震 47.6%と大幅にアップ

約 6 割以上の方が BCP に関するリスク情報収集の手段として SNS を活用、前向きである・・・

SNS 活用の仕組み説明 「Spectee」の紹介・特長・機能の説明

事例紹介:イオン、3PL 物流会社、自動車メーカー向けサプライヤー等

4. SNS 情報の課題と可能性 → フェイクニュース(デマが多く) 信憑性に欠けるが、

課題

可能性

・巧妙化するフェイクニュースへの対応

・SNS 以外の情報の一元化

・サービスの可能性への不安

・決めたエリアや事象で自動通知

・多すぎる情報の取捨選択

・リアルタイム通知

・被害状況やリスクを可視化・予測

5. フェイクか否かの見極め → AI の活用および人の判断・経験

<Q&A>

Q) Y 氏:例えば、道路上に何か障害があって通行可否の案内とか、目的地まではこのルートが一番空いてるとか、トラックは通行可とかというところまで繋げていくと使い勝手は良くなるが、現状は?

A) まだそこまでは至っていない。ToyotaMapMaster では出来ているはず。

Q) Y 氏:フェイクを見破る能力はどのくらいか、誤差率と言うか、これがフェイクだとした場合、どちら側に落ちるのか? 怪しい奴を落としていくのかそれとも一寸意味があるから残すような落とし方をするのか?

A) そこまでの詳しい事は分からないが、これがノウハウ故に一般公開はされていないが、個人的見解では、怪しい奴を落としていく。ただ怪しい奴をどう判断するかは画像とか動画による。画像を加工すると分かるが、古い写真(例えば 10 年前)などは AI で比較させるなどで判定する必要がある。

Q)I氏:フェイクの見分け方の一つとして投稿の件数も考慮されると聞いたが・・・これらは判断基準になっていないのか? 例)静岡の水害情報、写真の中には電柱が写っていないものがある→フェイクと判断

A) 同一情報が集まってくることで、情報同士の齟齬で判断する場合があると思われる

*T氏:人と防災未来センターで Spectee、FASTALERT/JX 通信をトライアルに使いやすさを比較して

いる。FASTALERTの方は一次情報を出すようだが、Specteeの方はフェイクを見極めながら出しているというような違いがあると聞いているが、どちらが良いのかご意見を伺いたい。

また、自治体でもこれらを導入しているようだが、担当者曰く、これらをメインに使ってはいない、と聞いている。大きな自治体では、災害情報システムを活用していて、Spectee 情報などは確認の意味で使っていると聞いている。

最近の取組では、神戸市の例だが、SNSで市民から情報を直接得て、災害情報システムで位置などをプロットしている。災害時に投稿して欲しいと来るプッシュ型のシステムで、登録者は周辺の状況を撮影して投稿する、それがシステムに反映されて地図上にプロットされるような仕組みで運用している。SNSでの収集方法と、こうしたプッシュ型の情報収集が進んでいる状況もある。使い勝手はそれぞれにあるのだと思う。情報提供まで。

A) ウェザーニュースでは、会員になった人に機器を置いてもらって日常の天気、雨とかなどの写真を送ってもらっている様だ。良い仕組みと考えている。善意でやってくれるため、フェイクも少ないと考えられる。全国に展開できればグッドアイデアと思う。

災害情報も、会員の善意で情報収集が出来れば非常に良いと思う。神戸市のみならず全国的に広げられると良いと思う。

*T氏:神戸市もウェザーニュースとライングループで実証実験している。

Q)I氏:情報の取り方が進化してきていると感じている

A) SNSは情報発信局、あちらこちらに放送局があるようなものである。

Q)I氏:料金はいくらくらいか?

A) 初期費用は30万円、月額7.5万円 (1IDで同時使用可)

Q)U氏:会社(NHK)で Spectee を使用していたが、一次情報をそのまま放送に使う事はない、信用できない情報、わざと騙す「ツリ＝マスコミをだますと言う意味」ゲームをしている輩がいるため、慎重になっている。一次情報が集中的に入ってくるため、武器にはなっている。NHKの技術研究所が SNS 情報の信頼度についての論文等を書いたりしている。今はツリ師のコミュニティーが存在する。

Q)I氏:海外からの投稿もあったが、タイトルは日本語、これは翻訳しているのか? 正確な訳か?

A) YES

*B氏:情報提供→Spectee には関心があって、活用例としてオンライン訓練のやり方等業者と話をした。

Spectee によるオンライン訓練実施に当たり、過去のデータが見れるため、その情報や画像を見ながら訓練ができるとの事。平素から活用して使いこなせるようになっていけば、SNS 情報を活用したオンライン訓練ができる。ただ月額7.5万円は些か高額と言う事で保留になっている。

A)Y氏:費用の件、1回5万円、1日5万円というのはやってもらえないのか? 交渉事だと思うが・・・

そういう交渉をされてみてはどうか。最初は不安だから、こういう使い方の方がとっつき易いと思うが。且つ、横について説明してくれる指導員がいればなお良いと思う。

*テスト版は貸してくれるようなので、試しにやってみる価値はある。

*B氏:過去のデータはどこまで遡れるか? 2018年の広島の土砂災害の折、実際に被害に遭遇したため、そのデータや写真を活用しながら訓練をするとより現実味があって(臨場感)良い訓練になると考えている。

*U氏:風水害について、防災上のことは気象庁のHPを見なさいとかは書いてあるが、何が欲しいのかと言う事については、具体的に記載がない。例)防風による被害が知りたい、そのためには平均風速、瞬間最大風速など・・・等々、こういうところを見る必要があると言う事をしっかり教えるような事が必要。

Q)N氏:ツイッター情報等はカテゴリー別に表示できるのか? どういうカテゴリーがあるのか?

A)Yes, PPT参照。

Q)1ID、みんなで活用してコスト削減可能かと思ったが、部門別には見たいものが変わってくる。複数別のものを見る場合はIDを分けるしかないのか?

A) Yes、視点が違うと見方も変わってくるので・・・

Q)例えば、購買部門では、サプライヤーの情報を取りに行く際に、拠点の情報をグーグルマップでお気に入り登録できるので、工場の立地などを登録しておいて、飛ぶようにしているが、この地図と重ね合わせが可能か否か?

A)NGです。

Q)N氏:SpecteeIDでお気に入り登録しておく、そのIDで入れる?

A)それがこのSpecteeの新機能。

Q)I氏:拠点登録で被害が発生するとメールがとんてくる?

A) そういう設定である。メールのみならず、音声で読み上げもしてくれる。

Q)N氏:BCポータルとの連携は?

A) その方向で検討中。

講師に御礼を述べ終了。

以上